

てしお

第 134 号
平成 23 年 8 月 31 日発行

議会だより



厳島神社例大祭 (7月17日撮影)

目次

○第2回町議会定例会ほか	P 2
○一般質問 (3氏6件)		
・川端議員 「TMRの推進について」	P 4
・山本議員 「本町における防災対策の強化推進について」		
ほか1件	P 5
・横山議員 「防災体制の見直しについて」ほか2件	P 6
○委員会報告、議会の動き	P10

第2回天塩町議会定例会

6月定例会は、6月14日から24日までの11日間の会期で開かれ、天塩町課設置条例の一部改正等、条例改正6件、3氏6件の一般質問のあと、23年度補正予算3件などを審議し原案のとおり可決。会期を2日残し22日に閉会しました。

条例その他

○天塩町課設置条例の一部改正
経済課を建設課と農林水産課の2課に分離しました。

○特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

○教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正
町長の給与を84万円から70万円に副町長の給与を68万円から60万円に改めました。

○天塩町国民健康保険条例の一部改正
町長の給与を60万円から55万円に改めました。

○天塩町介護保険条例の一部改正

○天塩町居宅介護支援事業所設置条例の制定

一般会計補正予算

【スポーツセンター管理経費】

川端議員

管理経費で300万円とあり、これは何か購入予定だと思いますが、内容を。

教育次長

現在使われているエアロバイクやランニングマシンにつきまして、購入する計画です。

【町民スキー場整備事業】

渡辺議員

スキー場は財政健全化計画で廃止の方向で動いていたけれども、町民の利用度合や熱意によって継続していますが、スキー場を整備

していく上で、今後一定のラインをどこへ置いて行っていかたい。

町長

21年度に比べて22年度の利用者が増えているということもありますので、全面的に使えなくなるまで修理をして、少しでも長持ちのするスキー場にしていきたい。

山本議員

リフト等の塗装では、砂を使ったプラスト錆落としを行う上での予算計上でしょうか。

教育次長

錆落としの内容までくわしくは把握していませんが、専門家がやっているのだからぶんそのような形を取ると推測されます。

【郷土文化保存会補助金】

遠藤議員

10万4千円補助しようとしている事業の支出内容は。

教育次長

事業の内容は、技術研修、衣装購入、消耗品費を合わせて総事業費22万4千円に対する補助です。

遠藤議員

町民は厳島神社をいち早く郷土文化財にすべきだと期待をしているが、作業がどの程度進んでいるか。

教育長

敵島神社の文化財に対する指定は天塩町文化財保護審査会で行っており、23年度には申請が上がってくると思います。

教育委員会として委員の皆様から承認をいただき指定できるようにしていきたいです。

【地方交付税】

遠藤議員

特別交付税の1千万円増額の対象内容は、

また、地方交付税が6千900万の

増額によって今年度の財政力の指数がどのようになったのか。

総務課長

1千万円増額は防衛省の港湾施設事業でプラスになりました。

また、財政力指数は0.16で経常収支比率は79.9%でございます。

【各種基金】

銀行等に預け入れしている基金や借入する際の利率は金融機関等それぞれ一緒なのか。

会計管理者

定期預金については全部で11基

金あり、北海道銀行の1年定期で年利0.03%、稚内信用金庫で0.04%になっており、3年定期では北海道銀行で0.35%、天塩農協で0.03%というのもあります。

借入については北海道銀行が、年利0.8%で稚内信用金庫が0.6%北海道の市町村備考資金では0.6%で借入しています。

ひとくちメモ

財政力指数・地方公共団体の財政力を示す指標として用いられるものであり、基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値で、通常は過去3力年の平均値を指します。

経常収支比率・資金収支表である資金繰り表などの経常収入に対する経常支出の割合のことで、経常収支比率が100%の時、現金収入と現金支出が釣り合っている状態であり、財務分析の安全性分析手法でもあります。

○一般会計補正予算○

平成23年度一般会計補正予算(第1号)は、1億698万2千円を追加し、総額を40億3,698万2千円としました。

歳入	
普通交付税	5,900万円
特別交付税	1,000万円
農地災害復旧費分担金	64万6千円
農地等災害復旧事業負担金	271万5千円
地域づくり総合交付金	600万円
前年度繰越金	2,800万円
その他	62万1千円
計	1億698万2千円

歳出	
庁舎管理経費	97万円
東日本大震災義捐金	100万円
地籍図等修正業務委託経費	72万5千円
姉妹都市訪問来訪経費	95万2千円
住宅リフォーム助成事業	750万円
中央町民会館補修事業	291万9千円
除排雪サービス事業補助金	100万円
老人クラブ運営費補助金	54万4千円
いきいき長寿御祝事業	62万円
老人福祉センター管理経費	107万4千円
水道事業特別会計繰出金	1,820万円
天塩町酪農ヘルパー推進協議会補助金	693万円
天塩町乳牛検定組合補助金	200万円
町営草地整備事業	216万円
狩猟免許等取得補助金	84万円
林業センター管理経費	90万円
パンケ沼覆砂新技術導入試験事業補助金	253万3千円
パンケ沼流況観測他調査事業補助金	238万円
環境・生態系保全活動支援事業補助金	50万円
てしお地域再生加速事業	600万円
町民保養センター管理経費	731万円
雄信内泉源横断管取替事業	390万円
産土東3線横断管取替事業	680万円
雇用促進住宅水洗化事業	290万円
外国人児童特別教育経費	134万6千円
天塩町スポーツ少年団補助金	50万円
町民スキー場整備事業	200万円
ファミリースポーツセンター管理経費	300万円
農地災害復旧事業	△101万円
農地災害復旧事業補助金	1,628万7千円
その他	420万2千円
計	1億698万2千円

川端英嗣 議員

TMR 推進の計画はどこまで進んでいるのか

町長 関係機関と緊密に連携し推進に努めます



川端 英嗣 議員

質問

町長は22年度執行方針の中でTMRの活用は農作業分業による省力化

や生産増にも大きな効果が期待でき、ゆとりある農業経営が期待でき、積極的に関係機関と協議するに
いており、国の支援を受けて取り組んだ地域雇用創出事業、地域雇用
創造実現事業、ふるさと雇用推進事
業などから、酪農業の分業化に向け
たTMR混合飼料の実験的な生産を、
と云っております。

また執行方針では、この方式の導
入について更なる研究を重ねると
言っております。

農業経営の部分では、酪農振興、

そして国の支援を受けての事業の部
分では雇用創出が目的であろう、ま
たそれは、それぞれ別なものと思わ
れるのでお伺いしますが、
1、農業行政の中での酪農振興を目
的として農家が自らTMR組織、つ
まりTMRセンターを作ることをご推
進しているのか。

それとも異業種参入等による新産
業の創出を目的としているのか。
2、TMRの活用について、積極的
に関係機関と長い間、協議を重ねて
いるようだが、その協議の結果はど
こまで進んでいるのか。また、今後
の展望は。

町長

基幹産業である酪農の機械・設備
投資の増加、高齢化、労働力不足の
解消を図るため、近年普及しつつあ
るTMRの推進に取り組んでおりま
す。TMR組織、TMRセンターは、
今後、さらに検討を重ねていかなけ
ればなりません。TMRは、酪農
経営の集団化を伴うものでありまし

て、酪農経営の根幹に関わるることか
ら酪農家自らが中心となつて進めら
れるべきものであります。その必要
に応じて異業種がその補完をしてい
くことが適当と考えております。

平成22年度より、2カ年間に渡り、
「新産業創出実証実験事業」として、
TMRセンターを利用した酪農支援
モデルの実証実験事業に取り組んで
いるところであります。

2点目ですが、「新産業創出実証
実験事業」では、先進地視察研修及
び全農家を対象とした「てしお酪農
かわら版」の配付を実施し、TMR
の普及啓発に努めてたところでござ
います。

また、普及センター、農協、農業
委員会などから構成されている経
営・生産対策推進会議や普及推進会
議など、TMRの協議は行われてお
りますが、TMR供給センター建設
の具体的なスケジュール・プランに
は至っておりません。

今後、TMRの実現のためには、
まず十分な酪農家同士の話し合いが
必要なことから、関係機関と緊密に
連携を図りながら、酪農家自らがT
MRを活用したセンターの設立につ
いて検討する「場」の設置を酪農家
に働きかけるとともに今後とも取り
組みを行い、酪農発展・推進に努め
ます。

質問

TMRセンター建設の具他的なス
ケジュール・プランが進展していな
い理由は何だと考えますか。

町長

士別市では、農家の方々を説得す
るのに丸2年かかっております。

基本的には農家の方々がまず自分
達がやってみようという決意がない
これはできません。

私達は農家と関係機関とのパイプ
役となつて取り組んでいきたい。

質問

TMRのメリットはたくさんある
が、反面、飼料を全部購入すること
による経費増と個々の農家が今まで
より飼育する頭数を増やさないと経
営としては難しい。

町としてどのような支援策を考え
ているか。

町長

町としての支援策は、今の段階で
は一生懸命PRをしながら農家の方
と意見交換を行うなどそういった取
組を積極的に行っていききたい。

ひとくちメモ

TMR・乳牛の養分要求量
に合うように粗飼料、濃厚飼
料、ミネラル、ビタミンなど
をすべて混合し、自動給餌さ
せる方式です。

山本 春光 議員

天塩町防災計画の検証 と見直しは

町長 国や道との整合性を 図り見直しを行います



山本 春光 議員

うになっていきますか。また、防災無線が聞き取りにくい問題について昨年の災害の後どのような対応をしたか。

町長

昨年度から見直しをかけている防災計画ですが、東日本大震災の規模を想定していない内容であり、見直すことを考えております。

質問
天塩町防災マップでは、災害の自分はどこへ避難したら良いのかわからない方が多くいると思います。が、自宅に貼れるステッカーなどを作成し、緊急の時は自分がどこへ避難すると分かるものを配付したらいいかがか。

一般質問
更には、本町で指定されている約40ヶ所ともいわれる避難場所の安心安全対策は本当に大丈夫でしょうか。町の中では病院以外発電機などがない避難場所、電源が切ればトイレなどのライフラインが全く使えないところもあります。避難所における食糧などの備蓄状況などはどのよ

質問
防災無線の改善は、スピーカー容量の増幅や操作盤の交換を行い災害時の通信を確保に努めておりますが、気象条件により聞きづらい状況であることはご理解願います。
ハザードマップ等の改訂版の作成を直ちに行うべきでは。

避難所における一定の備蓄とは何を備蓄しているのか。

町長

ハザードマップの作成は、道との協議や防災会議等で作成することになっておりますので、早くできるよう努力します。

避難所のライフラインは、十分に検討させていただきます。

備蓄されているものは、土嚢袋や麻袋、毛布、給水容器、非常用食品等です。

山本 春光 議員

心療的医療や福祉サービスを 受けられる窓口設置を

町長 福祉専門職や関係機関と更 に連携を深めてまいります

質問

日常生活の圏内、約30分以内で駆けつけられる範囲で心療的医療や福祉のサービスを受けられる相談窓口の設置を。

また「安心生活お守りキット」のようなその中にかかりつけの病院、服用中の薬、血液型、緊急連絡先、保険証等のコピーなどをおさめ自宅の冷蔵庫にドアに貼る等のものを設置しては。

また、福祉会館の利用で一般町民が葬儀等で使用するのが可能か。

町長

1点目の心療的、精神的疾患の相談窓口の設置ですが、知的障害及び身体障害は町が窓口となり関係機関と共に対応をしております。

精神疾患は、専門的なノウハウが必要なことから留萌保健所が対応をしている状況です。

本町におきましても相談窓口として関係する福祉専門職や関係機関と更に連携を深めてまいります。

次に高齢者対策としまして、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯などの割合が年々高くなってきておりますことから、高齢者等が住みなれた町で安心・安全に暮らせるよう、地域のセーフティネットワークづくりを関係機関の連携により進めるところです。

取り組みとしましては、高齢や病弱、障害などで生活に不安を感じている方々の見守りのため、町内会の協力で民生児童委員協議会が作成した「要援護者福祉マップ」を活用し、各町内会単位での「あんしん見守り隊」設立や、各老人クラブによる友愛訪問など、見守りが必要と思われる高齢者の方の安否確認や見守り支援を実施しています。

次に福祉会館の利用ですが、利用方法が、大人数によるイベントや葬儀など、他の施設利用が困難な状況時には、利用可能と考えております。町民の皆さんが葬儀などで利用する際には、「ケースバイケース」があり得ますことから、利用時間等に関しましては十分な相談に応じてまいりたいと考えております。

質問

天塩町地域保健所に精神保健相談が設置され、専門医が相談に応じているとありますが、年間どれだけの人が利用しているのか。

福祉課長

これにつきましては、うつ病だけでなく、統合失調症や、認知症であったりすることから、その方の人数については大体年間数名ということでは聞いております。

相談の窓口は対面型の相談支援と電話相談支援とがあり、対面的に行

われたのは数名です。

横山 敦 議員

想定以上の災害に向けた防災体制の見直しは

町長 大震災を踏まえた防災計画を検討します



他町で利用されている緊急医療情報キット(サンプル)



横山 敦 議員

質問

今後の災害時における体制として、1、市街地の築堤となる海岸通の標高は。

2、耐震構造の避難場所の数は。

3、内陸部避難場所の収容人数は。

4、保育所、学校、病院、高齢者福祉施設などの避難方法は。

5、津波を想定した避難訓練の実施は。

6、高台の避難場所整備と避難経路の確保は。

町長

最初に「市街地の築堤となる海岸通の標高」ですが、約6mから10mの標高となっております。

次に「耐震構造の避難所の数」ですが、37施設中13施設は耐震構造若しくは耐震改修が完了しております。

次に「内陸部における避難所の収容可能人数」ですが、市街地と川口基線町内会館・浜東岸町内会館を除く、21施設の合計で約880人を収容で

きるものと考えております。

次に「保育所、学校、病院、高齢者福祉施設等の避難方法」ですが、町立病院における津波・地震・洪水の発生に伴う避難方法は、地震・洪水の発生時の避難場所は保健ふれあいセンター、津波発生時は中央町民会館または天塩小学校となっております。

しかし、保健ふれあいセンター、中央町民会館及び天塩小学校の施設は、病院よりも建設年度が古く、建物の高さも低い実態にあります。

このことから、現実的な避難場所は、天塩中学校が適当です。

天塩保育所は天塩中学校・スポーツセンター・ふれあいセンターが避難所に、雄信内の保育所は、雄信内生活改善センターが避難所です。

小中学校・老人福祉センター・雄信内老人憩いの家・ふれあいセンターは、当該施設が避難場所の指定になっております。

それから恵愛荘・デイサービスセンター・ショートステイ・ケアハウスの施設は、避難所は天塩中学校・スポーツセンター・ふれあいセンターとなっております。

次に「津波を想定した訓練の実施」ですが、これまでに天塩警察署・消防支署・建設協会などと連携しながら、津波を想定した図上訓練を行っ

てきたところでございますが、本年3月の東日本大震災による津波の恐怖を再認識させられたところであり、津波を想定した訓練を今年度中に実施してまいりたいと考えております。

次に「高台の避難場所整備と避難経路の確保」ですが、避難場所は北更岸地区や産土地区といった高台が候補地となりますが、避難経路の確保としての道路整備については、現段階では難しいものがあると考えております。

今回の大震災を踏まえた防災計画が国や北海道においても、検討されるでありましょうし、これらとの整合性をもった計画や施策を進めてまいりたいと考えております。

質問

10メートル以上の津波が発生した場合の現実に沿った災害体制の再構築についての考えは。

大津波発生時の避難場所の具体的な確保策は。

町長

天塩町のみならず、海岸線の町村では10メートル越えたようなものは想定していませんが、専門の機関、道、あるいは地元住民の皆さん方、議会と協議した中でここが最善でないかというところが導き出せれば、その方向に向けての努力をしていきたいとこんなふうに考えております。

一般質問

避難所は、整合性を取りながら、積極的にこれに取り組んでまいりたいと考えております。



防災ガイドブック

横山 敦 議員

高速ブロードバンド、光回線の導入は

町長 現行の国の補助制度では整備が難しいと考えます

質問

当町では市街地及び雄信内地区の一部でADSL回線が開通しているものの、ほとんどの農村部ではアナログ回線でインターネットでの情報を得ることがほぼできない状況であります。

そこで、光回線整備構想として、1、光回線整備の意思と過去の導入検討の有無。

2、光回線整備に係る初期費用と国からの交付金の有無。

3、導入した場合の保守・ランニングコストは。

4、光回線の耐用年数と更新時の費用は。

近隣の町村の実例を含めて伺います。

町長

高速ブロードバンド（光回線）の整備は、長年の懸案事項であった平成25年度天塩小学校の改築や町民生活や産業経済活動を支える上での欠かす事の出来ない水道の災害対策と老朽化した施設の大規模改修が見込まれるなど、財政的にも現時点で、現行の国の補助制度の中では整備実施が難しいと考えております。

企画商工課長

はじめに整備に係る初期費用と国からの交付金は、概算でございますけれども、遠別町は、初期費用総額10

億1846万円、国からの補助金、交付金合わせて、9億7066万円。そのほか自己資金と過疎債合わせまして、4780万円となっております。

幌延町の場合は、初期費用総額が8億6400万円。国からの交付金が6億3600万円。自己資金と過疎債合わせまして、2億2800万円となっております。

中川町の場合は、初期費用総額が8億2500万円。国からの交付金が、7億8291万円。自己資金と過疎債合わせまして4209万円となっております。

次に、保守・ランニングの町負担額には、遠別町では実質負担額は155万円、幌延町は370万円。中川町は296万円ということになっております。

次に、光回線の耐用年数と更新時の費用は、ファイバー法定耐用年数では、10年間となっております。更新時の費用は、国の補助金が担保されていないため、初期費用分の全額が町負担として見込まれております。

質問

現時点での整備実施が難しいのは理解できますが、これからの町づくりには必要不可欠なものであることもご理解をいただきたいと思います。

今後、国などの通信インフラに対する補助事業を注視し、早期実現に向けて「尽力いただきたい」と考えるが、今後の取り込みについて、どうお考えか。

町長

今後どうなっていくのかも見極めながら、この光回線の導入、そういう方向に向けて町として積極的に取り組んでいくよう努めたいと思います。

質問

町民や地方に住みたい町外の方々の定住促進に活用すべく、町遊休地を宅地として一定条件の下、無償で分譲し、活用してはいかかと考えます。町長の町政執行の基本姿勢にあるよう、先見性と独創性が試されるときであり、超少子高齢化社会の到来や進む過疎にある現状を緩和する施策が必要ではないかと思えます。現在の町遊休地の実態と人口減少の緩和や経済の活性化につながる活用案についての考えは。

町長

公営住宅は、本年度より公営住宅の建替え、新規建設、改善、用途廃止を盛り込んだ「公営住宅等長寿命化計画」の策定作業を始める予定であり、その中で公営住宅解体後の跡地の利用も検討する予定をしております。

次に、町外の定住促進に町遊休地を宅地として無償で分譲し活用してはどうかというご質問ですが、今後、無償での分譲の検討は、国や道で行っている定住促進制度の活用を検討や先進的に取り組んでいる市町村の実態調査、地域住民のニーズなどを考慮し、合わせて、議会や関係機関、地域住民など幅広い方々の意見を通じて、人口減このように考えております。

質問

住宅不足は公営住宅用地で約2,300坪ある空き地を分譲することにより、公営住宅に入居している町民が住宅を新築し、公営住宅から転居することによっても改善されると思われます。

現在、公営住宅や民間の賃貸住宅に入居されている町民に無償でも分譲による住宅取得ニーズを調査することも必要だと考えます。

これらを検討する定住対策のための委員会を設置し、公営住宅等長寿命化計画策定も合わせて協議することにより、民間住宅と公営住宅の状況を把握でき、早期に合理的な計画策定ができるのではないかと考えます。このような検討委員会の設置について、どうお考えか。

町長

公営住宅に使ってきた空き地は、行政財産となっており、今の公営住宅のこれまでの計画がずっと存在しており、それがあまる間は、今のままでおこななければいけないということがあります。

それから無償分譲は、情報収集を行いながら取り組むようにしてまいりたいと思えます。

定住対策委員会は、設置をぜひ考えていきたい。

第2回町議会



5月23日

○町税条例の一部改正を専決

東日本大震災に係る雑損所得の特例の追加と固定資産税の特例を受けようとするものすべき申告等の特例の追加を行った。

○22年度一般会計補正予算専決

歳入では特別交付税の額の確定、と林道災害復旧事業における財源の確定、歳出は事業執行残の財源調整、病院会計に対する繰出金、財政調整基金への積立てが主な内容で、1億3000万6千円を追加し、総額を4億6千201万8千円に。

○22年度国保会計

(事業勘定) 補正予算専決
311万2千円を減額し、総額5億3千819万円に。

○22年度老人保健会計

補正予算専決
54万5千円を減額し、総額104万5千円に。

横山 敦 議員

公住跡地等、町遊休地の無償分譲は

町長 計画に基づき有効利用を検討します

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う間接被害者への損害賠償、支援対策を求める意見書

本年3月11日に発生した東日本大震災以降、東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故による影響を受けて、放射性セシウムの検出による牛肉の出荷停止や風評被害に伴う和牛価格の下落等により、株式会社安愚楽牧場の経営に大きな制限・打撃が伴ったことから、同社と黒毛和牛繁殖委託契約を締結している天塩町にある預託牧場に対して、同契約書に基づく預託料等の一部が未払いとなっており、さらに飼養している預託牛に関しては、その飼養・管理その他の同契約に基づく預託業務の遂行のための費用が日々発生している状況にある。

本来、預託牛の飼養等を内容とする預託業務に関する預託料は、株式会社安愚楽牧場の財産管理に係る費用として、優先的に弁済されてしかるべき性格のものであり、既に6月分以降の預託料等の支払いが停止状態で、さらには取引業者からは現金決済を通告されている状態下において、預託牧場の資金繰りにも重大な影響が生じ、同社の所有に係る預託牛の管理状態に不測の問題が生じる可能性も排除できない状況にある。さらに、預託牧場の経営者、雇用者などの就業不安は日増しに大きく、経営の危急存亡を回避すべく、早急な対応が必要である。

よって、今回の株式会社安愚楽牧場の経営の悪化は、東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故に起因するところが大きく、そもそもの原因が国の原子力発電所の安全対策に帰することを深く認識し、日本の主要な食糧基地北海道の担い手である間接被害者の営農継続のために、国・道においては下記の事項について実現されるよう強く要望する。

1 預託牧場の預託料等の保障・補填措置の実施

株式会社安愚楽牧場の経営の悪化は、預託牧場の資金繰りや預託牛の管理状態などに影響を与えており、東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故に起因することから、預託牧場を間接被害者として位置づけ、預託料等の補償・補填を国が責任を持って救済すること。

2 預託牧場の資金繰りを改善する運転資金の創設

救済措置による預託料等の補償・補填措置が実施されるまでの期間、資金繰りの悪化を避けるため、道において緊急的な低利運転資金の創設を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規程により意見書を提出する。

平成23年8月8日

衆議院議長殿
文部科学大臣殿
北海道知事殿

参議院議長殿
農林水産大臣殿

内閣総理大臣殿
経済産業大臣殿

北海道天塩郡天塩町議会
議長 石山直継

○22年度水道事業会計

補正予算専決

801万5千円を減額し、総額2億8千237万4千円に。

○町税条例の一部改正

天塩町国民健康保険税の全体の課税額を現行の71万円から75万円に引き上げを行った。など

○22年度国保病院会計

補正予算専決

1千535万8千円を減額し、総額6億2千576万3千円に

第3回町議会



8月8日

○東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う間接被害者への損害賠償、支援対策を求める意見書を議決後国等へ提出しました。

産業厚生常任委員会

調査日 平成23年8月12日
委員 菊地、川端
渡辺、横山

(1)パンケ沼のしじみの状況調査

実際に現地に行き、しじみ資源の保護対策を実施しているパンケ沼の覆砂事業の現状やパンケ沼の底質や塩分遡上状況などの説明を受けた。委員からは、引き続き覆砂事業等が行えるよう町は積極的に関係機関に働きかけていくべきとの意見があった。

(2)振老旧川のしじみの状況調査

振老旧川に以前しじみが生息していたことから、天塩川にある樋門と振老旧川との中間点に1haの水面を作りしじみの生息調査とヒシクイの塩分耐性について調査を行っている」と説明を受けた。

委員からは、しじみの生息ができればよう引き続き調査していくべきとの意見があった。

の意見があった。

(3)漁組としての解決が迫られる課題の調査

北るもい漁協天塩支所が抱える喫緊の課題について関係者から状況を聴取した。

1 トド被害対策

毎年トドによる漁業被害が深刻であることからハンターによる駆除等の補助について町に確認を行っている。

2 沿岸流木対策

天塩川上流から流れている大量の流木により漁業被害がでている。道に流木対策の補助金増額の要望提出と天塩川流域市町村に処理費用負担の要望提出の検討を行う。

3 しじみ資源対策

パンケ沼のしじみ資源の減少や塩分が遡上しない問題がある。天塩川排泥枘跡地のしじみ棚造成に向けて意見書を提出すべきと意見があった。

4 支所加工処理施設整備

しじみの選別機、鮭、カレイ等のスライサー、冷蔵庫、加工場排水処理施設の整備を行いたい。現段階で漁協として町に要望は行っていないが、申請が来た場合は補助事業等を使い支援するよう町に確認する。

議会の動き



5月

- 27日 天塩町教育三者合同歓迎会〔議長〕
- 30日 天塩川治水促進期成会・国道40号整備促進期成会総会〔士別市、議長〕
- 31日 天塩町自衛隊協力会及び誘致期成会総会〔議長〕

6月

- 2日 留萌町村会定期総会・留萌地域総合開発期成会総会〔留萌市、議長〕
- 3日 産業厚生常任委員会〔全委員〕
- 3日 北留萌消防組合臨時議会〔羽幌町、副議長〕
- 7日 議会運営委員会・全員協議会〔全議員〕
- 10日 第62回北海道町村議会議長会定期総会・留萌管内町村議会議長会臨時総会〔～11、札幌市、議長〕
- 西天北五町衛生施設組合臨時議会〔菊地議員〕
- 14日 第2回天塩町定例会〔～22、全議員〕
- 18日 陸上自衛隊留萌駐屯地58周年記念行事〔留萌市、議長〕
- 24日 第1特科団及び北千歳駐屯地創隊・開庁59周年記念行事〔～25、千歳市、議長〕
- 28日 天塩地区防犯協会連合会総会・天塩町防犯協会総会〔議長〕

7月

- 5日 北海道町村議会議員研修会〔～6、札幌市、全議員〕
- 9日 札幌天塩会総会〔札幌市、議長〕
- 第1特科群創隊59周年記念祝賀会〔千歳市、議長〕
- 11日 留萌振興局長との地域づくり意見交換会・懇親会〔議長ほか〕
- 13日 各種期成会夏期合同要望会・更岸地区土地改良事業促進期成会要望会〔～15、東京都・札幌市、議長〕
- 16日 天塩川港まつり天塩川安全祈願祭〔議長ほか6議員〕
- 18日 天塩川学セミナー・13市町村と松坂市との交流会〔中川町、議長〕
- 19日 留萌地域総合開発期成会臨時総会及び地元要望会〔留萌市、議長〕
- 20日 留萌地域総合開発期成会札幌要望会〔札幌市、議長〕
- 23日 北部方面千葉陸将水際訓練視察送迎・陸上自衛隊稚内分屯地東北復興祈念祝賀会〔稚内市、議長〕

8月

- 2日 第2師団・旭川駐屯地東北復興祈念行事〔旭川市、議長〕
- 3日 天塩町立国保病院運営委員会〔菊地・川端議員〕